

SAPS から見つかった佐藤昌介の 1876 年採集標本

札幌市 高橋 英樹

札幌農学校 1 期生の佐藤昌介（1856 年 12 月 21 日～1939 年 6 月 5 日）が農学校に入学した年である 1876 年の 8 月から 10 月にかけて札幌で採集された植物標本 42 枚の束が、北海道大学総合博物館陸上植物標本庫（国際略称 SAPS）の未整理標本中から見つかった。札幌農学校の開校式は 1876 年 8 月 14 日だったので、開校式前後から 2 ヶ月ほどの間に満 19 歳の佐藤昌介が採集したと思われる植物標本である。全体として標本の状態はよくなく、台紙にはしみや煤が一部広がり虫食いの穴や縁の欠損などがあったが、ほとんどの標本（一部の標本には虫害がありツタウルシのように植物体全体が失われているものはあったが）では植物体本体は残っていた。標本ラベルの標題に「HERBARIUM OF S.SATO」とあり、ラベル情報の日付 Date の最後に「S.Sato」と明記されているので佐藤昌介が自ら採集した植物標本だと判断した。

標本ラベル情報（英文）ははっきりと読み取ることができた。標本ラベル情報については表 1 にまとめた。表の左半分は標本ラベルに書かれていた内容そのもので、右半分は標本植物を同定して現在の科名や種名、植物標本の状態をまとめたものである。確実な同定ができなかった標本がいくつかあった。

江戸時代後期採集など一部の標本を除き、SAPS の収蔵標本の多くは札幌農学校

設立以降の明治時代初期からの採集品である。初期の標本として多いのは、採集者名「Class '80」【札幌農学校 1880 年クラス】により 1878 年に札幌周辺で採集された標本である。この採集者名は卒業年で呼ばれているようで、これらの標本は佐藤昌介が在籍していた 1 期生達が第 3 年次に採集した標本だろう。

北海道大学附属図書館展示アーカイブ (<https://www2.lib.hokudai.ac.jp/archive/>、2018 年 11 月 26 日アクセス) 中の「北大の英語教育／農学校のカリキュラム」によると、第 1 期生（＝1880 年クラス）の 1 年目のカリキュラムにはクラークによる本草学 Botany とペンハローによる本草学 Botany (Physiological Botany) があった。佐藤昌介が入学した年の夏から秋にかけて行われた今回の植物採集は、これら 1 年目のカリキュラムの一環だった可能性もある。

今回見つかった佐藤昌介の 1876 年採集植物標本について以下の諸点について考察してみた。

1) 植物の種類とラベル記述内容について

標本 42 枚中で最も多いのがキク科 Asteraceae (Compositae) の 13 枚、続いてマメ科 Fabaceae (Leguminosae) 5 枚、ナデシコ科 Caryophyllaceae 3 枚、タデ科 Polygonaceae 3 枚（3 枚以上の科のみ）と続き、キク科植物が目立つ。これは分類